

講演&シンポジウム

# 普請文化 フォーラム2018

未来へ継承すべき伝統建築  
・石垣普請・造園技術

普請:家を建築したり修理したりすること。建築工事。また、道・橋・水路・堤防などの土木工事。

2018年4月28日(土) 12:00~16:00 (12:00開場)

明治大学アカデミーホール 参加費 1,000円

## 基調講演

「日本建築の伝統的な価値を巡って」



東京大学名誉教授・建築家

内田 祥哉

東京帝国大学第一工学部建築学科卒業。  
通信省、日本電信電話公社を経て、東京大学教授、明  
治大学教授、金沢美術工芸大学特認教授・客員教授、  
日本学術会議会員、日本建築学会会長を歴任。工学博  
士、工学院大学特任教授、日本学士院会員。

## 特別講演

「加藤清正公の名城熊本城の大普請」

～4.28あの熊本地震から2年～



奈良大学教授・城郭考古学者

千田 嘉博

奈良大学文学部文化財学科卒業。  
大阪大学博士国立歴史民俗博物館助教授、奈良大学学  
長を歴任。専門は城郭考古学。特別史跡熊本城跡保存  
活用委員会の委員を務めるなど全国の城跡調査と史跡  
整備に関わる。日本城郭協会理事。



日本建築の匠の技

伝統構法を

無形文化遺産に!

## 一般社団法人 伝統を未来につなげる会 設立趣旨

日本人は古来から、自然を支配しようとか、自然に対抗しよう、という考えや姿勢をいささかも持たなかった。人間も自然の一部として認識していたから、暮らしも住まい方も、自然と一体化することを目指してきた。風雪や地震に耐える堅固で遅く美しい構造体を日本の大工は、何千年に至る長い歴史に培われた暮らしの叡智である「経験の科学」によって作りあげてきた。木と土と紙の家は呼吸する家であった。和風の付まいや、庭と触れ合う詩情漂う空間、家の内でも外でも自然の機微に触れることによって世界に誇る日本固有の伝統文化も生まれ、発展した。近代合理主義が世界的な行き詰まりを見せている21世紀に、我々日本人はもう一度、すぐれた日本の伝統文化を掘りおこし、その知恵に学び、次代へつなぐ努力を迫られている。伝統建築及び普請の文化の技と叡智を広く未来に伝え、さらに活用・進化させることが、日本人が古くから営み続けた、自然との共生、木材資源の流通、森林の活性化等、本来の日本人の姿と心を復活させるであろう。

会長 中村 昌生

主催 一般社団法人伝統を未来につなげる会 共催 公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ

後援 公益社団法人日本建築士会連合会 一般社団法人日本建築学会 一般社団法人全国建設業協会 伝統木構造の会 日本民家再生協会 緑の列島ネットワーク 職人が作る木の家ネット 明治大学社会連携本部 明治大学震災復興センター 和の住まい推進関係省庁連絡会議





基調講演 「日本建築の伝統的な価値を巡って」

内田 祥哉 東京大学名誉教授・建築家

日本の大工は、生きている木の性質を知り尽くし木の持つ力強さと美しさをどう引き出すかに腐心しながら、長い年月の間、代々構築の技を磨いてきた。何千年に至る長い歴史に培われた暮らしの叡智・経験の科学によってつくりあげられた伝統建築構法の可能性と価値についてお話しいたします。



特別講演 「加藤清正公の名城熊本城の大普請」 ～ 4.28 あの熊本地震から2年～

千田 嘉博 奈良大学教授・城郭考古学者

400年前の築城以来最大の危機といわれるほどの被害を受けた熊本城。大普請には国内外から多くの支援が寄せられ、再生は着々と進んでいます。城づくり・石垣普請の天才とたたわれた加藤清正が7年の歳月と、当時の土木・建築の粋を集めて普請した名城の再生に向けた取り組みを、特別史跡熊本城跡保存活用委員会の委員を務める千田先生にお話しいたします。

パネルディスカッション 「伝統建築技術の継承・活用で切り拓く日本の未来」

日本の多様な技術の集大成ともいべき伝統建築技術の伝承・活用は、国際的な観光資源としての街並・景観づくり、国内外に人気の古民家再生による地方創生、更には豊かな日本の森林資源利活用等、日本経済の活性化にもつながります。各分野を代表するパネリストの方々が、伝統技術の継承・進化をもたらす多様な「価値」について語り合います。



コーディネーター  
後藤 治

工学院大学理事長。  
1988年文化庁入庁。文化財保護部（現文化財部）建造物課、文部技官、同文化財調査官等を経て現職。日本建築士会連合会ヘリテージマネージャーネットワーク協議会運営委員長。



パネリスト  
進士 五十八

福井県立大学学長。  
庭園学者。ランドスケープ・アーキテクトとして緑のまちづくり、環境学者として活躍。2007年紫綬褒章受章。



パネリスト  
島崎 英雄棟梁

職芸学院 建築職芸科 オーバーマイスター。  
棟梁坂本一へ弟子入り・修行、島崎工務店を創業。古民家の再生、古材活用、自然素材による住まいづくりを実践しつつ、職芸学院開学当初より職藝教育に携わり、木造建築における手仕事の基礎技能を指導する。



パネリスト  
小林 正美

明治大学副学長。建築家。  
アルキメディア設計研究所主宰、NPO 法人まちづくりデザインサポート理事長。



パネリスト  
飯田 泰之

明治大学政治経済学部准教授。  
内閣府規制改革推進会議委員、農林ワーキンググループ座長。  
専門は経済政策、日本経済論。



お申し込み

一般社団法人 伝統を未来につなげる会

FAX

0561-74-0769

HP 申し込み  
専用フォーム

<http://dentoh-isan.jp/meijisym-po-entry>



FAX申し込み

必要事項をご記入の上、上記FAX番号にお送りください。FAX確認次第、スタッフよりご連絡いたします。

ふりがな 名前:	TEL:	FAX:
住所:		
Email:		
個人情報の 取り扱い	ご記入いただいた個人情報については、当法人「プライバシーポリシー」に従い、適切に取扱いします。 公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ <a href="https://www.noblesse-g.co.jp/privacypolicy">https://www.noblesse-g.co.jp/privacypolicy</a>	
		<input type="checkbox"/> 同意する